

日時：令和7年12月3日（水）10:00～

場所：仙台市役所本庁舎3階 第一応接室



# 第40回 仙台市中小企業活性化会議

仙台らしい経済政策・次期経済成長戦略の方向性

仙台市経済局

# 次第

1

開会

2

市長挨拶

3

事務局からの説明

(仙台らしい経済政策／次期経済成長戦略)

4

意見交換

5

閉会

# 事務局からの説明

**1** 前回会議でいただいたご意見

**2** 本日の会議の位置づけ

**3** 仙台らしい経済政策

**4** 次期経済成長戦略の方向性

# 1 前回会議でいただいたご意見

## ▶ 若者の採用・定着を巡る都市間競争は激化しており、地域企業の「魅力」の解像度を上げる必要

### ○若者の価値観・働くニーズ

- ・給与はもちろん、休めることを重視する傾向
- ・若者は二極化している印象（目標に向けてがむしゃらに動く人と、仕事以外に価値を求める人）

### ○魅力的な企業の例

- ・ミッションやビジョンが壮大で求心力があり、行動力が伴っている企業。経営者が未来志向
- ・多様性が活かされる環境が重要。色々な人がアイデアを持ち寄ると経営が活性化する
- ・「働きやすい」は「休みがとりやすい」とイコールではない。モチベーションが高い人材にマッチする、そうした人材がバリバリ働ける企業も必要
- ・家事代行サービスを福利厚生として取り入れる、ワークライフ・バランス推進が経営にも好影響
- ・ワークライフ・バランスを超えて、地域企業のワークライフ・インテグレーションを進めてはどうか
- ・業種では情報通信業、職業としては専門的・技術的職業従事者が若者に選ばれている（若い人が増えている）

### ○政策アイデア

事業成長	<ul style="list-style-type: none"><li>・キラリと光る企業に対し、行政も一定のリスクを受容しながら投資していく必要があるのではないか</li><li>・最低賃金上昇や労働力減少もあり、経営者の「売上確保・事業継続せねばならない危機感」が政策のポイント</li></ul>
組織力強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・処遇が不透明な企業に対する、人事評価制度の整備も必要</li><li>・入社後にいかに輝く人材に成長してもらうか。本人らしさを引き出し、人に投資することが大切</li></ul>
人材獲得	<ul style="list-style-type: none"><li>・就活の仕組みもあって若者は地元企業をあまり知らないなので、中小企業のリクルートを支援することが必要</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・首都圏に比べて地方に欠けているものは「楽しさ」ではないか</li><li>・仙台らしさや仙台独自の魅力を考え、経済局だけでなく市全体で連携して政策に落とし込むことが必要</li><li>・政策と指標、成果を結び付けて考えていく必要</li></ul>

# 1 前回会議でいただいたご意見 参考 | 早期に反映した取り組み例

ご意見を踏まえ、R7.9補正予算を活用して以下事業を追加実施

## <足元の最低賃金上昇、労働力減少への対応>

### 年度当初から実施中

- ①業務効率化サポート補助金（伴走支援/補助金）
- ②生産性向上・賃金引上げ応援金（国補助金への上乗せ）

+

- 「**仙台生産性ブースト補助金**」を追加  
省力化やIT導入に向けた国補助金への上乗せ  
（上限各50万円）

## <多様性、ワークライフ・インテグレーション>

### ○新たに、**戦略人事推進ロールモデル創出事業（5社程度）**を実施

- ・地域企業経営者を主な対象に、戦略人事に対する理解を深めるとともにその推進に向けた伴走支援を行い、戦略人事を実践し多様な人材活躍に取り組むロールモデル企業を創出
- ・これらの取り組み及び成果を広く発信することで、成果の横展開と地域での機運醸成を図る

- 上記の他、小泉委員による市職員向けの「**ダイバーシティ経営研修**」を実施（10/14）

## 2 本日の会議の位置づけ

---

### 前回議論

- ・ 令和 8 年度政策の方向性

### 本日議論いただきたい内容

- ・ 仙台らしい経済政策
- ・ 次期経済成長戦略策定に向けた進め方

### 次回議論（想定）

- ・ 令和 8 年度実施政策のご紹介
- ・ 令和 8 年度議論方向性（テーマ等）の議論
- ・ 次期経済成長戦略に向けたアンケート調査結果のご共有 → 更なる深掘りの議論

### 3 仙台らしい経済政策 必要性

◎これまでの2回の議論「市内事業者の成長志向を高める」「令和8年度政策の方向性」からいただいた、政策の実効性向上の糸口

- ①企業の礎である人材、特に若者を惹きつける働く場（本市）の「魅力」とは？
- ②域外の企業や他都市との競争を前提とした、「仙台らしい」政策とは？

前回・前々回の会議でのご意見から

#### 【魅力】

- ・ ミッションやビジョンが壮大、かつ求心力のある経営者の企業（そうした企業が多い環境）
- ・ 多様性が活かされる環境／休みも取れるが、バリバリ働くことも許容される環境

#### 【仙台の特性・仙台らしさ】

- ・ 支店経済を活かした大企業のノウハウを取り込む仕組み
- ・ 地方に一番欠けているのは楽しさ／仙台らしさや仙台独自の魅力を考えるべき



- ・ 魅力や仙台らしさの深掘りは、他都市との「違い」や本市の「強み／弱み」の明確化と同義
- ・ これらは、政策効果の増大に加え、将来的な人口減少局面でさらに重要性を増す「域外からの人・投資の呼び込み」の訴求材料を得る意味でも重要

### 3 仙台らしい経済政策 方向性

---

#### 考え方（案）

本市特性を多様な視点（人材、産業構造、文化的土壌、宮城・東北の中核、等）で捉え、**強みとなるものを積極的に活用し、弱みとなるものを補強する政策**

#### これまでの政策（一例）

- 上場企業や100億企業など、地域経済の核となる企業が少ない → **中核企業輩出集中支援**
- 震災を契機とした防災意識の高まりと、仙台防災枠組の採択 → **BOSAI-TECH**
- 多様さを受容し発展してきた歴史的土壌 → **ダイバーシティ経営促進**

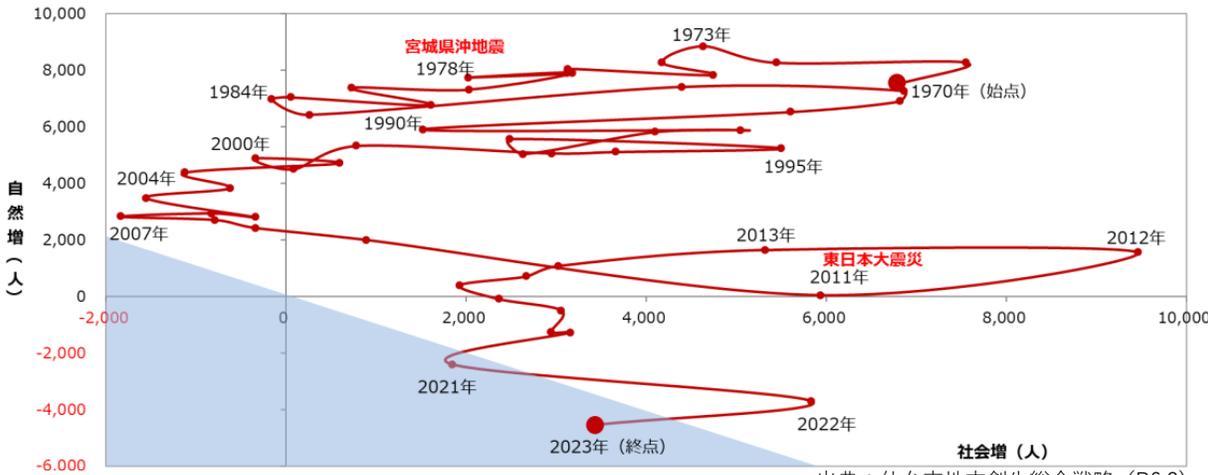


次ページから本市の特性の一端をご紹介させていただき、皆さまより、中小企業支援に関連した「仙台らしい経済政策」について、その着眼点や政策イメージをご発言いただきたい

# 3 仙台らしい経済政策 人材

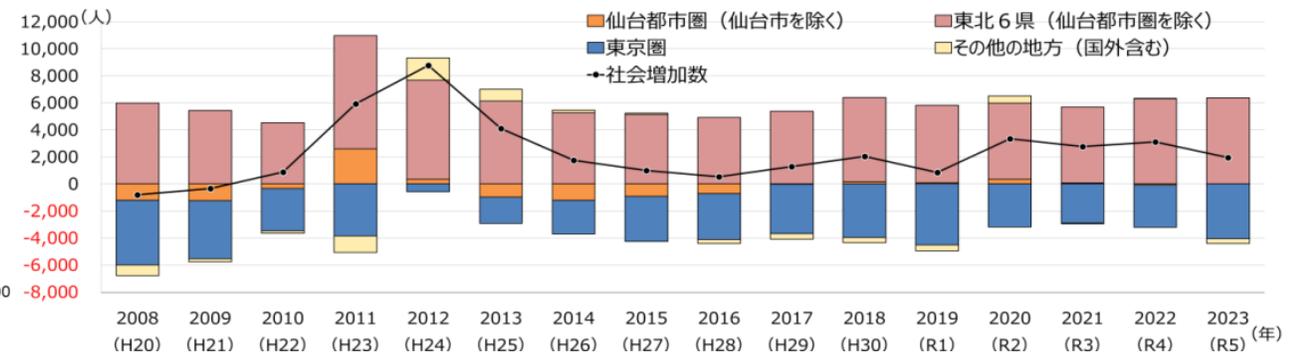
本市人口は増加を続けてきたが、減少局面への移行は避けられない  
**自然増減（出生数－死亡者数）は2017年から減少しており、社会増減（転入－転出）は2010年以降  
 転入超過が続くものの、対東京圏に限れば一貫して転出超過**

総人口に与えてきた自然増減と社会増減の影響



出典：仙台市地方創生総合戦略（R6.3）

地域ブロック別の転出入超過数



※ 仙台都市圏：仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、亶理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、大衡村

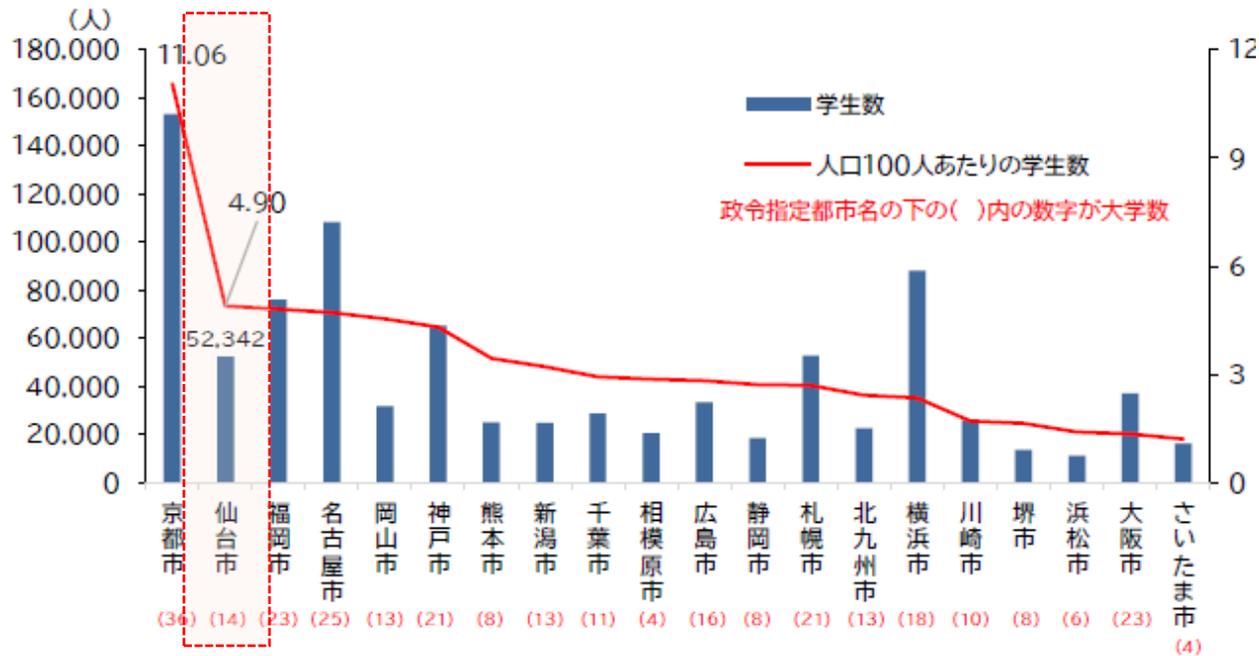
出典：仙台市地方創生総合戦略（R6.3）

- ・ 縦軸が自然増減を、横軸が社会増減を示す  
 例：縦軸が0より大きく（上にある）、横軸が0より小さい場合（左にある）は自然増・社会減で総人口は増加した年
- ・ 網掛け部分にポイントされている年は、総人口が減少した年を示す

### 3 仙台らしい経済政策 人材

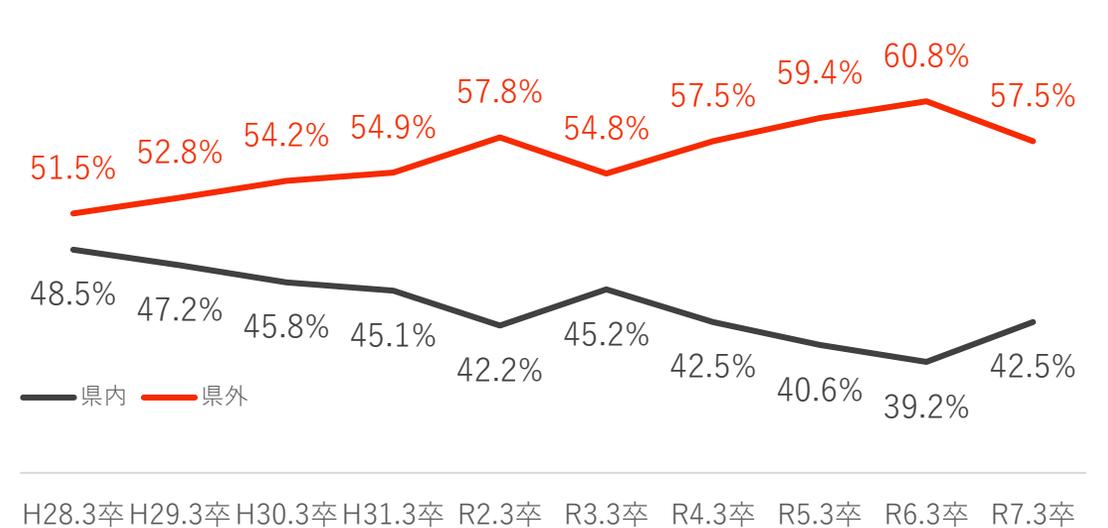
「学都仙台」として大学生を中心に多くの若者が集うが、卒業を契機とする県外転出が拡大傾向

政令指定都市の大学及び学生数（2023年）



出典：仙台経済COMPASS (R6.3)

県内新規大卒者等の地元就職率の推移

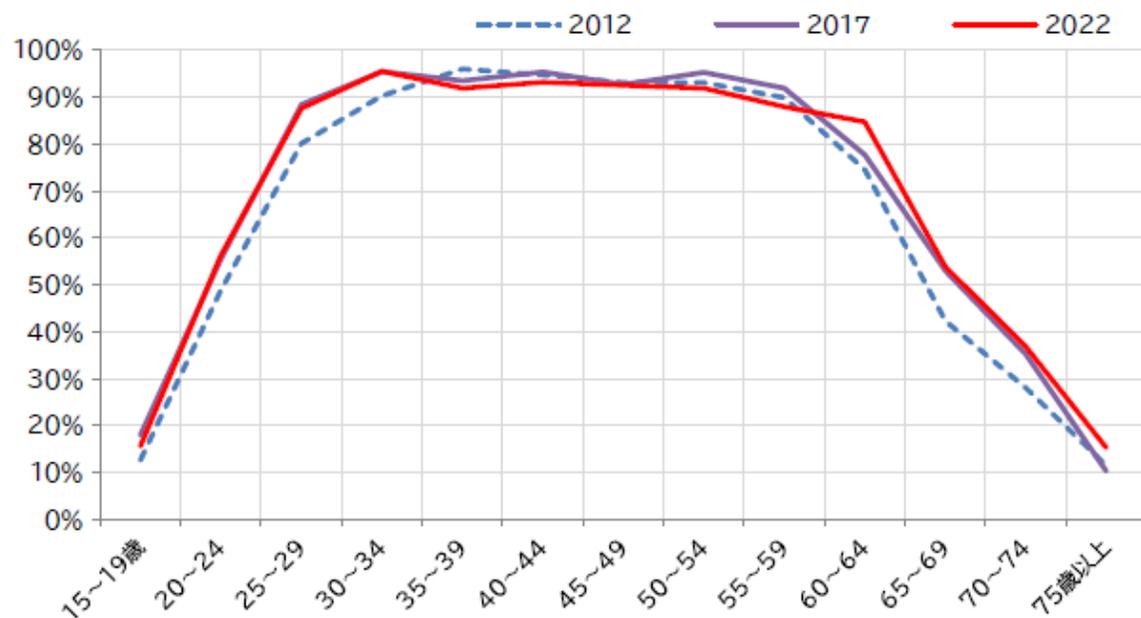


出典：宮城労働局『令和7年度3月新規大卒者等の就職状況』。大卒者等は大学・短期大学・高専専門学校・専修学校を指す

### 3 仙台らしい経済政策 人材

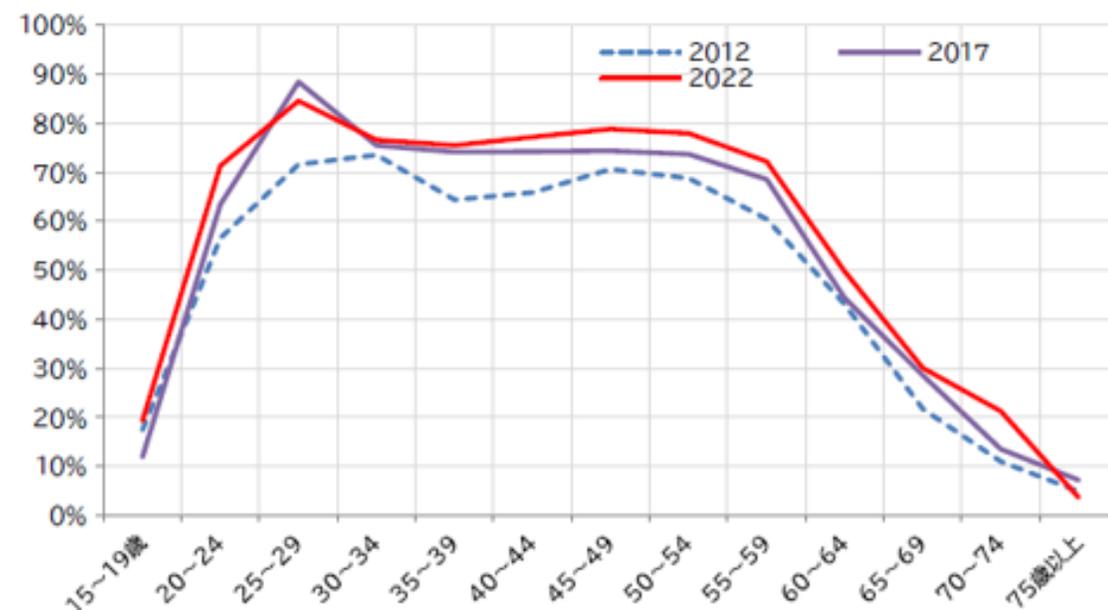
男女とも60歳以上の有業割合が増加傾向、女性の有業割合は全体的に上昇

市内年齢別有業者割合（男性）



出典：仙台経済COMPASS（R6.3）

市内年齢別有業者割合（女性）

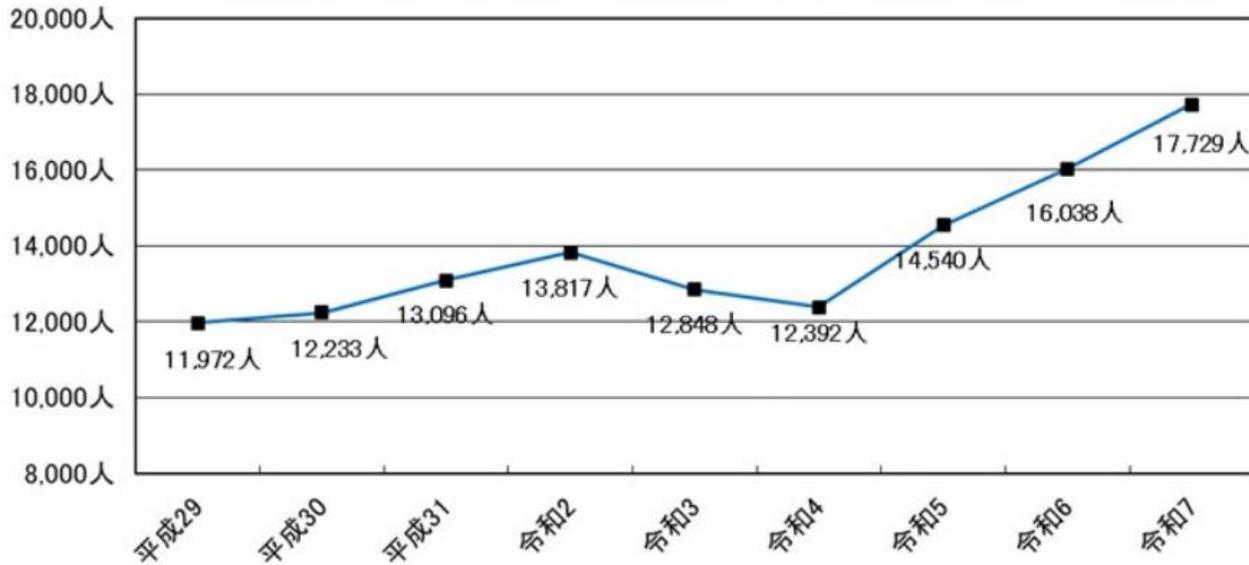


出典：仙台経済COMPASS（R6.3）

### 3 仙台らしい経済政策 人材

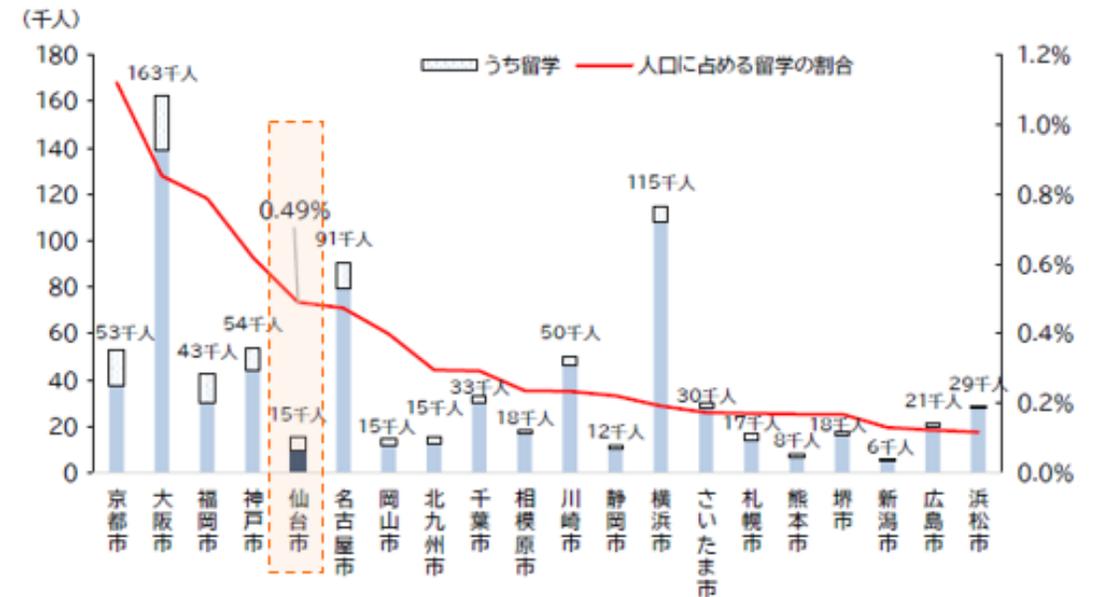
市内の外国人住民はコロナ禍による停滞があったものの、近年は増加傾向が強まる  
留学生割合が高く、今後も国際卓越研究大学となった東北大の影響等でさらなる増加を見込む

本市外国人住民数の推移



出典：本市文化観光局HP (<https://www.city.sendai.jp/koryu/shise/gaiyo/profile/koryu/r7/20250501tokei.html>)

政令市別の在留外国人数 留学生数 (2023)

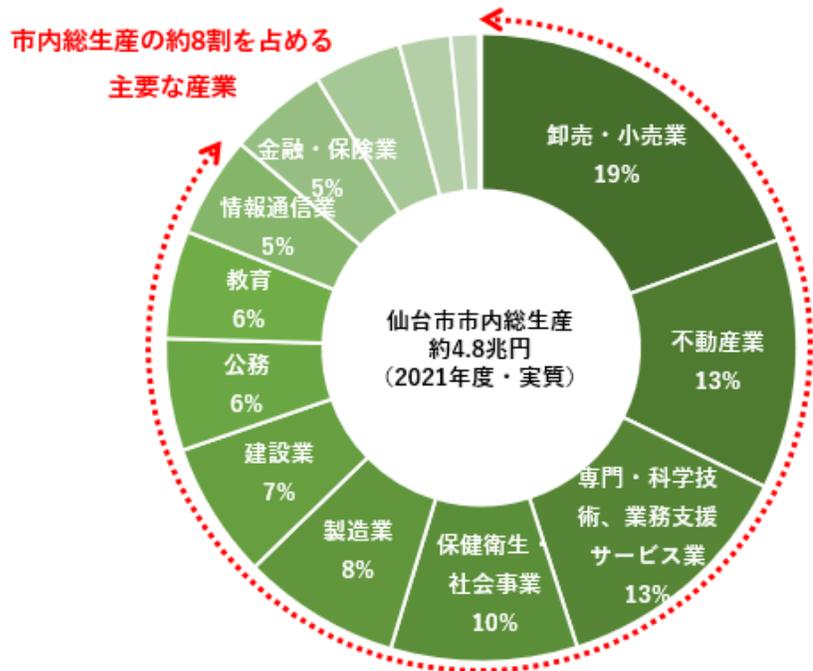


出典：仙台経済COMPASS (R6.3)

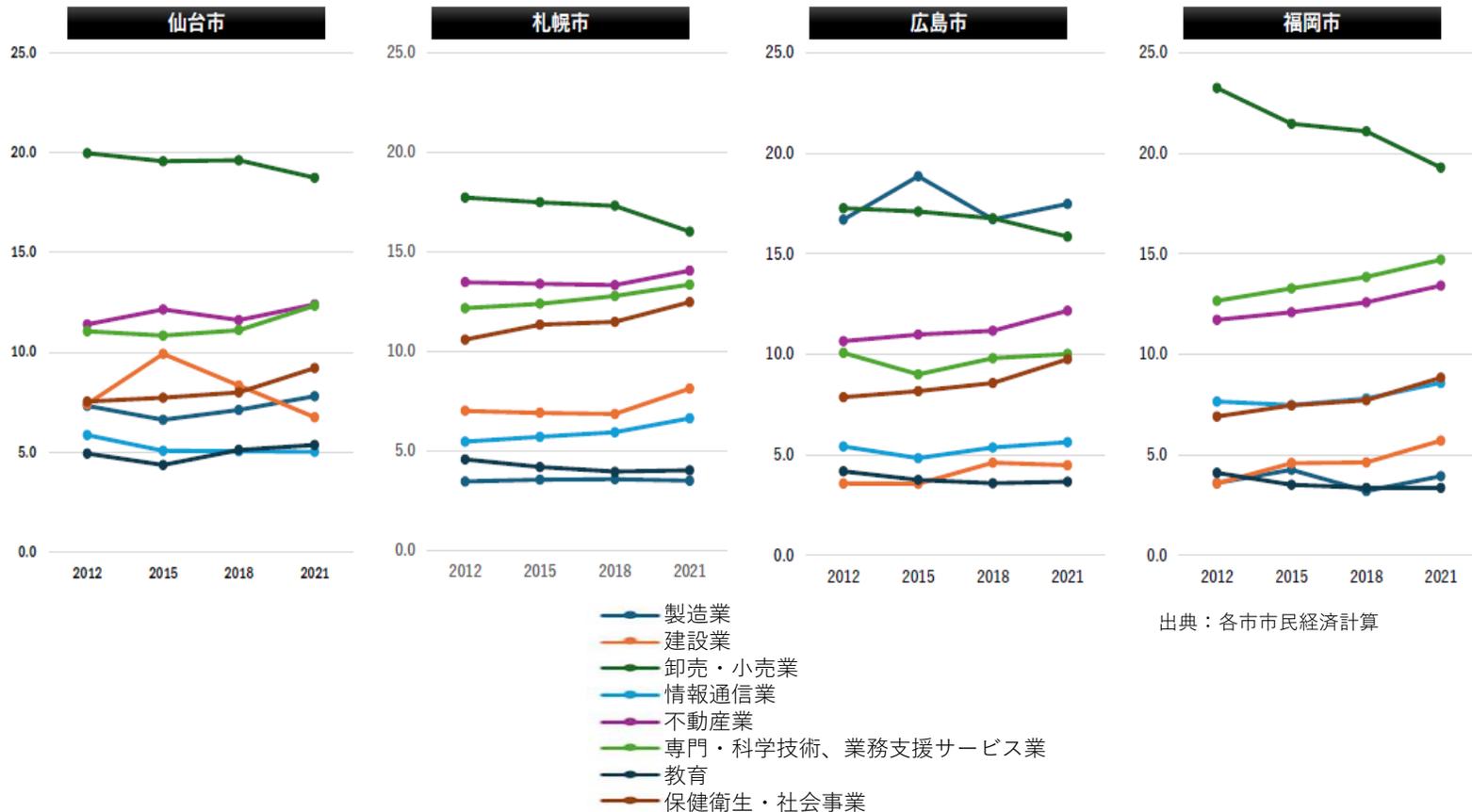
# 3 仙台らしい経済政策 産業構造

「卸売・小売」の割合が高いのは札仙広福共通だが、特に福岡市は「情報通信」や「専門・科学技術」の構成比率が高まり、都市としての稼ぎ方が急速に変化している

本市市内総生産構成比（2021）



札仙広福の市内総生産上位産業内訳推移（2012-2021）



参考：金融・保険業以降の構成比（降順）

出典：仙台市市民経済計算

- 運輸・郵便業 4%
- 電気・ガス・水道・廃棄物処理業 3%
- 宿泊・飲食サービス業 1%
- 農林水産業 0.1%
- 鉱業 0.1%

### 3 仙台らしい経済政策 文化的土壌

本市の最上位計画である「仙台市基本計画」では、「環境」「共生」「学び」「活力」を仙台の特色と整理し、「挑戦を続ける、新たな杜の都へ～“The Greenest City” SENDAI～」を理念に掲げる

仙台市基本計画 計画期間：2021-2030

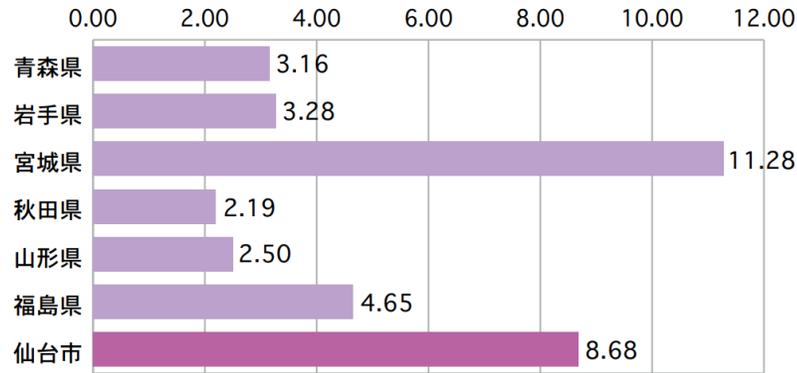


出典：仙台市基本計画（2021.3）

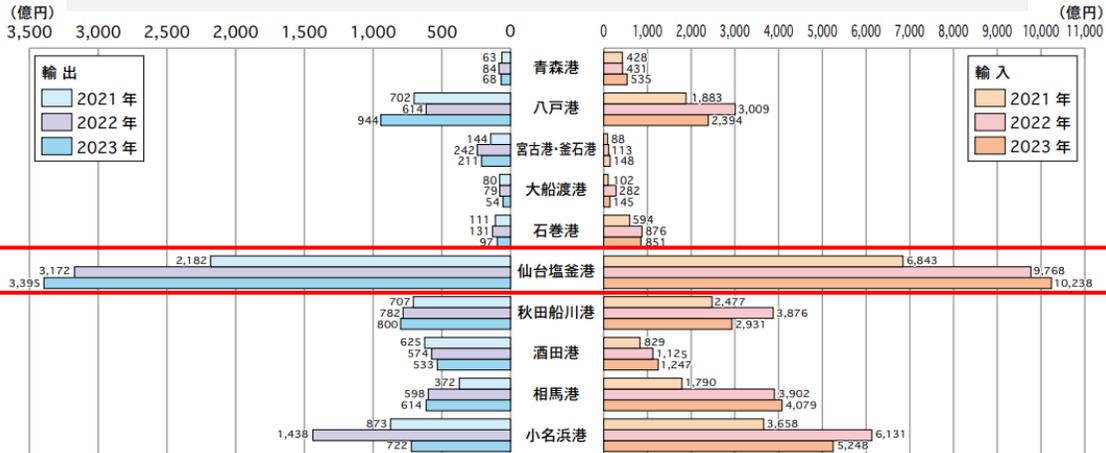
# 3 仙台らしい経済政策 宮城・東北の中核

仙台は東北6県における商圏・物流の中心であり、豊富な交通インフラを活用した東北のハブとして機能することが期待される

年間商品販売額（卸売業と小売業の合計） R3経済センサス



東北地域主要港別貿易額（2021-2023）



出典：東北経済のポイント（2024年版）東北経済産業局 ※上記資料のいずれも

海外・国内・東北・県内を繋ぐ多様な交通インフラ

東京や国内主要都市とのアクセス



出典：仙台市企業進出ガイド

県内・東北主要都市を繋ぐ高速道路網の充実



東北唯一の国際拠点港湾：仙台塩釜港



# 3 仙台らしい経済政策 【参考】都市特性評価



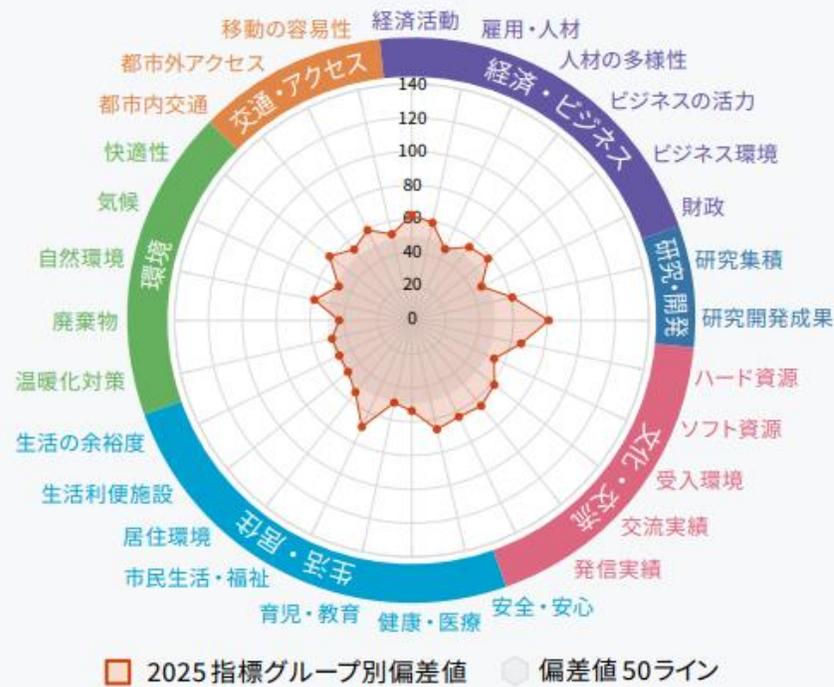
## 研究力と暮らしやすさで躍進を続ける東北の学術拠点都市

仙台市は合計スコアの順位を昨年の9位から7位に上げ、**研究・開発**と**生活・居住**を中心とした総合力の高さを示した。最大の強みである**研究・開発**では論文投稿数とグローバルニッチトップ企業数で4位を維持し、学術都市としての地位を確固たるものになっている。**生活・居住**では13位へわずかに後退したものの、「市民生活・福祉」で外国人住民の受入体制が2位を獲得するなど多様性への取り組みが評価された。**文化・交流**も11位を維持しており、景観まちづくりへの積極度で3位の高評価を得ている。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



### 3 仙台らしい経済政策 本件会議でのご意見 (R5~R7・抜粋)

#### 強み

- ・支店経済を活かして**大企業のノウハウ**を活用する
- ・「東北」という**地域の連帯感**が他地域より強い。**企業連携**がしやすい  
(困りごとのマッチングによる解決)
- ・一次製品の**生産地と近い**、首都圏に比べれば**土地が安い**
- ・アニメを中心とする**知的財産**の集積
- ・働くうえで経済的なゆとりと時間的なゆとりの両方を追及できる (**幸せに働くことができるまち**)
- ・北米からの船便が東京湾よりも1日早く着く。仙台を**アジア拠点**と捉える企業もある
- ・**東北経済のハブ**として本社部門を仙台に誘致できないか
- ・**競合他社が少ない** ※弱みとも捉えられる

#### 弱み

- ・変化に前向きではなく**現状維持バイアス**が強い経営
- ・ヒト・モノ・カネが**自然と集まる** ※強みとも捉えられる
- ・**意思決定に時間**がかかる企業が多い印象
- ・生産性が高くはない**内需主導産業** (小売・飲食) が中心で、DXや省力化は急務
- ・東京に比べて最も欠けているものは「**楽しさ**」ではないか
- ・従業員が**成長できる機会・環境**を提供できていない会社が多い
- ・スタートアップに関する**経営人材と研究施設**が不足

### 3 仙台らしい経済政策 総括（市経済局意見含む）

	強み	弱み
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人口減少速度は他政令市より緩やか。生産年齢人口は比較的多い</li> <li>○東北大の高度人材。留学生も多く卓越大でさらに加速</li> <li>○大学／大学院卒の高度人材割合が他政令市より高い</li> <li>○震災を機とした社会課題解決型ビジネスの機運が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○卒業後の地元定着率低い（特に高度人材）</li> <li>○東北の人口減少</li> <li>○労働者の多様性（外国人・女性の有業率が低い）</li> <li>○現状維持志向の経営者が多い</li> </ul>
モノ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究開発基盤（東北大、ナノテラス、東北メディカルメガバンク機構など）</li> <li>○医工学等の研究シーズ</li> <li>○コンパクトな都市機能と自然との調和（杜の都）</li> <li>○災害に強く、防災環境都市としてのプレゼンス</li> <li>○東北へのゲートウェイ機能、首都圏とのアクセス</li> <li>○全国認知度の高いグルメ（牛タン）やイベント（七夕）</li> <li>○実証フィールドとしての可能性（市街地・山・海）</li> <li>○スタートアップ「グローバル拠点都市」への選定</li> <li>○大企業の支店（多様な知見・ノウハウ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の中心となる大企業が少ない</li> <li>○労働集約産業（卸・小売、飲食など）のDXをはじめとしたなど生産性向上の遅れ</li> <li>○産業クラスターの未形成・産業の色の薄さ</li> <li>○製造業や物流拠点が立地する産業用地の不足</li> </ul>
カネ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国平均より高い雇用者報酬</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消費者物価指数の上昇率が全国上位</li> <li>○投資家の存在が見えづらい、距離が遠い</li> <li>○建設業を中心とする復興需要の減衰</li> <li>○本社が首都圏の企業が多く、利益が本社へ還元</li> <li>○インバウンドがまだ少なく、事業者側も対応に遅れ</li> </ul>

### 3 仙台らしい経済政策 「強み」から導かれる政策イメージ

	強み	活かすための課題（例）	政策の方向性（例）
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人口減少速度は他政令市より緩やか。生産年齢人口は比較的多い</li> <li>○東北大の高度人材。留学生も多く卓越大でさらに加速</li> <li>○大学／大学院卒の高度人材割合が他政令市より高い</li> <li>○震災を機とした社会課題解決型ビジネスの機運が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大学生等の卒業時の首都圏転出抑制、特に東北大等の高度人材の受け皿拡大</li> <li>○首都圏等に転出した人材を呼び戻すアプローチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地元企業と学生やUII希望者のマッチング</li> <li>○若者にとって魅力的な企業輩出（事業拡大やワークライフ・インテグレーション）</li> <li>○スタートアップ支援</li> </ul>
モノ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究開発基盤（東北大、ナノテラス、東北メディカルメガバンク機構など）</li> <li>○医工学等の研究シーズ</li> <li>○コンパクトな都市機能と自然との調和（杜の都）</li> <li>○災害に強く、防災環境都市としてのプレゼンス</li> <li>○東北へのゲートウェイ機能、首都圏とのアクセス</li> <li>○全国認知度の高いグルメ（牛タン）やイベント（七夕）</li> <li>○実証フィールドとしての可能性（市街地・山・海）</li> <li>○スタートアップ「グローバル拠点都市」への選定</li> <li>○大企業の支店（多様な知見・ノウハウ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○付加価値を生みやすい産業へのシフト</li> <li>○地元中小企業⇔「大学、大企業、スタートアップ」の連携強化</li> <li>○震災発災からの時間の経過</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○重点的に振興する産業分野の打ち出し</li> <li>○企業間ネットワーク構築、産官学連携促進</li> <li>○地元企業のレジリエンス向上</li> </ul>
カネ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国平均より高い雇用者報酬</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地元企業で働く価値のPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高付加価値を生むロールモデル企業の発信</li> <li>○仙台で働く魅力の発信（賃金＋快適さなど）</li> </ul>

### 3 仙台らしい経済政策 「弱み」から導かれる政策イメージ

	弱み≒課題	政策の方向性（例）
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> <li>○卒業後の地元定着率低い（特に高度人材）</li> <li>○東北の人口減少</li> <li>○労働者の多様性（外国人・女性の有業率が低い）</li> <li>○現状維持志向の経営者が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な働き方の普及促進</li> <li>・地元経営者への危機感の発信</li> <li>・経営人材やプロ人材と地元経営者とのマッチング</li> <li>・東北各県、中核市との経済分野での連携強化 （UIJや物販、スタートアップを含む人材育成など）</li> </ul>
モノ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の中心となる大企業が少ない</li> <li>○労働集約産業（卸・小売、飲食など）のDXをはじめとしたなど生産性向上の遅れ</li> <li>○産業クラスターの未形成・産業の色の薄さ</li> <li>○製造業や物流拠点が立地する産業用地の不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中核企業輩出支援（上場支援／伴走支援）</li> <li>・生産性向上、DX支援</li> <li>・企業誘致強化（市の強み、仙台進出メリットのさらなる訴求）</li> </ul>
カネ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消費者物価指数の上昇率が全国上位</li> <li>○投資家の存在が見えづらい、距離が遠い</li> <li>○建設業を中心とする復興需要の減衰</li> <li>○本社が首都圏の企業が多く、利益が本社へ還元</li> <li>○インバウンドがまだ少なく、事業者側も対応に遅れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価格転嫁支援（差別化・高付加価値化・輸出）</li> <li>・大企業支店と地元企業のネットワーク構築</li> <li>・本社機能誘致、VCや投資家と地元企業とのマッチング</li> <li>・ナショナルチェーンとの連携や多言語対応、商業者を中心とする機運醸成</li> </ul>

## 4 次期仙台市経済成長戦略の策定に向けて 次期戦略の方向性

◎近い将来、本市人口は減少局面に移行することが想定されており、地域経済の維持・拡大に向けては、これまで以上に「域外」を意識する必要

①全国・首都圏や海外からの「人・投資」の呼び込みをどのように拡大していくか？

②呼び込んだ「人・投資」の効果をいかに仙台・東北に波及させていくか？

◎上記2点のカギとなるものが、①政策の「仙台らしさ」であり、②市民をはじめ、仙台に関わるステークホルダーとの議論を通じた「本市経済の目標や課題の共有」であると認識



### 【方向性】

- ・次期経済成長戦略の策定を、本市の強みや、目指す経済のあり方を内外にアピールしていく好機と捉える
- ・域外企業に仙台進出や地元企業との連携・協業を、そして、地元企業に多様な成長や域外進出等を働きかけていくための「ツール」となる戦略をつくる

# 4 次期仙台市経済成長戦略の策定に向けて 次期戦略の概要等

## 1 概要（想定）

**期 間**：2027年度～2030年度（4年間）

**位置付け**：「仙台市基本計画(2021-2030)」を上位計画とした、経済産業政策の方向性を示す本市の計画

**目 的**：市民をはじめとするステークホルダーと、本市経済が目指すものや課題を共有するとともに、域外企業に仙台進出や地元企業との連携・協業を、地元企業に多様な成長や域外進出等を働きかけていく「ツール」を得る

## 2 盛り込むべき要素（案）

### ①本市経済の課題と 目指す姿

地元企業の現状や取り巻く環境の的確な把握と、域内外の関係者を惹きつけるビジョンや目標の設定

### ②目標達成に向けた政策等の 因果関係の体系的整理

目標達成に向けて、設定したKPIや政策効果がどのように寄与するかを可視化し、納得感を向上

### ③活用シーンの 具体的想定

訴求していく内容や相手、訴求先の関心・メリットを事前に想定・把握し、見せ方や内容を検討

次期経済成長戦略の方向性や盛り込むべき要素について、主に中小企業支援の観点からご意見やご感想をいただきたい

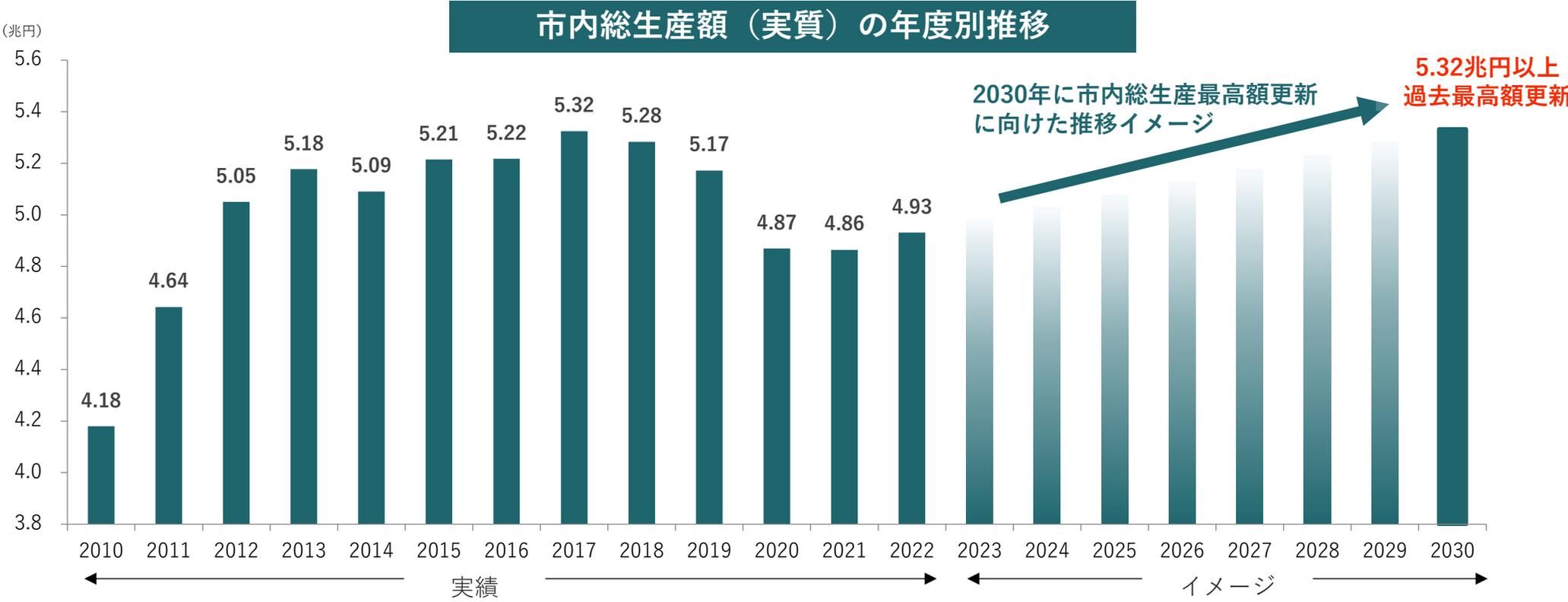
# 4 次期仙台市経済成長戦略の策定に向けて 【参考】 現行戦略

## 仙台経済COMPASS (2024年度～2026年度)

テーマ | 成長に向けた変革

数値目標 | 2030年度における「市内総生産の過去最高額の更新」

視点 | ①多様な主体の活躍と参画 ②新たな市場への挑戦 ③他分野との融合による成長



## 4 次期仙台市経済成長戦略の策定に向けて

## 【参考】 現行戦略

項目	基準	目標値 (2026年度)	中間値	進捗率	本市の主な取り組み
多様な人材の活躍に取り組んでいる企業割合 (アンケート調査)	34.6% (2023年度)	50%以上	37.4% (2025年度)	18.2%	多様な働き方（制度整備等）伴走支援 ロールモデル紹介・イベント開催 スタートアップ人材のチャレンジ促進
事業拡大に取り組む予定がある企業割合 (アンケート調査)	23.8% (2023年度)	30%以上	28.3% (2024年度)	72.6%	地域中核企業輩出支援パッケージ 稼げる農業（スマート農業含む）
海外販路開拓に取り組む企業割合 (アンケート調査)	6.0% (2022年度)	10%以上	3.7% (2025年度)	0%	販路開拓・海外見本市等出展への助成 福祉機器等アジアビジネス展開支援
法人数 (法人市民税均等割の納税法人数)	35,709法人 (2022年度)	37,000法人	35,979法人 (2023年度)	20.9%	—
労働者数 (個人市民税の納税義務者数)	474,702人 (2023年度)	490,000人	479,972人 (2024年度)	34.4%	—
企業立地件数 (本市誘致による進出企業数)	74件 (3年間)	100件 (3年間)	33件 (1年間)	33.0%	企業立地促進助成金 首都圏企業へのプロモーション

## 4 次期仙台市経済成長戦略の策定に向けて 【参考】 他都市例

	静岡市 第3次静岡市産業振興プラン	堺市 堺産業戦略－ Sakai IMPACT Strategy －
ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共創による新たな挑戦を通じ、豊かに経済成長を続けるまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内で活動する企業や人やプロジェクトが相互につながり、掛け合わせり、相乗効果を生み出すインパクトある堺の産業が躍動している</li> </ul>
KGI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民一人当たりの市内総生産額</li> <li>・ 働きやすいまちだと思ふ人の割合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業従事者1人当たりの付加価値額向上</li> </ul>
KSF	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共創によるイノベーション創出の推進</li> <li>・ 企業の競争力や成長力の強化</li> <li>・ 本市産業を支える人材の育成・確保</li> <li>・ 選ばれる「地域」を目指した本市プレゼンス最大化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中百舌鳥イノベーション拠点</li> <li>・ 働く意欲のある多様な人材</li> <li>・ SDGsをリードする企業</li> <li>・ 歴史に裏打ちされた産業</li> <li>・ 重層化する地域産業</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共創プロジェクト立ち上げ数</li> <li>・ 支援先事業者数</li> <li>・ 人材育成に取り組んでいる企業の割合</li> <li>・ 来訪者満足度、企業立地件数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタル化に取り組んでいる市内企業割合</li> <li>・ 法人企業オープンデータポータルサイト「さかしる」に、法人基本3情報以外の企業情報を入力した企業数</li> <li>・ 堺市イノベーション投資促進条例に基づく認定投資額</li> <li>・ SDGsの意味及び重要性を理解し、取り組んでいる企業の割合</li> <li>・ 堺伝統産業会館などにおける伝統産品などの年間売上金額</li> <li>・ イノベーション創出につながる事業数</li> <li>・ 女性の就業率</li> </ul>

## 4 次期仙台市経済成長戦略の策定に向けて 意見聴取全体像

### STEP 1 現況や課題の全体感の把握 R7.11～R8.2

- ・市内アンケート調査（事業所約2,000社、所属する従業員）

### STEP 2 生の声獲得 R7.12～R8.8

- ・首都圏企業や政府機関、大学、市内企業・団体向けヒアリング

### STEP 3 本件会議における主に中小企業政策にかかる意見 R7.12～R8.11

本日	カギになる「仙台らしさ」の議論、方向性へのご意見・ご感想
R8.3～R8.8	骨子議論（ビジョン/KGI/KSF等）
R8.11	中間案議論
R9.3	最終案報告

### STEP 4 仮置きしたビジョンやアプローチのブラッシュアップ R8.5～8

- ・テーマ別経営者懇話会：地元経営者を中心に各回8名×4回程度
- ・東北6県行政・商工団体ヒアリング  
：仙台・東北の経済連携や本市の役割、アクション等（計10回程度）

### STEP 5 全体意見聴取 R8.11～12

- ・パブリックコメント（広く市民意見を聴取）

# 事務局説明の総括とご議論いただきたい内容

## 1 仙台らしい経済政策

- ◎本市特性を多様な視点（人材、産業構造、文化的土壌、宮城・東北の中枢、等）で捉え、強みとなるものを積極的に活用し、弱みとなるものを補強する政策
- ◎魅力や仙台らしさの深掘りは、他都市との「違い」や本市の「強み／弱み」の明確化と同義であり、域外からの人・投資の呼び込みにあたっての訴求材料を得る意味でも重要

## 2 次期経済成長戦略の策定に向けて

- ◎2027年度から4年間の本市経済分野における行政計画
- ◎域外企業に仙台進出や地元企業との連携・協業を、地元企業に多様な成長や域外進出等を働きかけていく「ツール」として活用する想定
- ◎今後ヒアリング等と並行し、本件会議でも引き続き関連する議論をさせていただく

本日の会議では、主に中小企業支援の観点から

- 「仙台らしい経済政策」の着眼点や政策イメージ
- 次期経済成長戦略の方向性や盛り込むべき要素

についてご議論いただきたい